

# 水の事故が発生したら

## ①付近に助けを求める。おぼれている人を救助する。

- ・大声で助けを求め、119番通報も併せて依頼する。
- ・ロープや浮き輪などを使い、おぼれている人を救助する。

## ②陸上に上げ搬送する。呼吸が無ければ人工呼吸を行う。

- ・厚い板などに乗せ、静かに持ち上げ搬送する。
- ・意識が無ければ気道確保をし、呼吸を確認して、呼吸が無ければ直ちに人工呼吸を実施する。

**ポイント** 頭部にけががあれば飛び込みなどによる頸部の損傷を考える。頸部の損傷が疑われる場合は、頭部を後屈せず下あごのみを引き上げる。

## ③循環のサインがなければ心臓マッサージを行う。

- ・2回の人工呼吸を行った後、循環のサイン（自発呼吸、咳き込みなど）が無ければ、15回の心臓マッサージを行う。
- ※8歳未満の子どもに対しては、1回の人工呼吸と5回の心臓マッサージを行う。
- ・以後、人工呼吸と心臓マッサージのサイクルを繰り返す。

**ポイント** 人工呼吸に際して、水を吐かせる必要は無く、もし水を吐いたら顔を横に向け口の中をきれいにする。

浴室での事故から海難事故まで規模や形態の違いはありますが、いかなる事故でも冷静に、協力し合って対処することが大切です。

心肺蘇生法など応急手当の詳しい手順は、土岐市ホームページの消防コーナーをご覧ください。また、応急手当講習会に関しては、北消防署（☎0119）、南消防署（☎0119）救急係へどうぞ。

意外なことに水の事故は、河川や海などの屋外よりも、家庭内の浴室などで多く発生しています。ただこの季節は、水に接する機会が多く、海やプールなどでの事故が予想されます。水の事故は、生命に直接影響し、重大な結果を招くこととなるので、十分に注意する必要があります。

水の事故から尊い命を守るためには「水の怖さを知る」とともに、子どもには日ごろから

「水に対する注意を喚起」し、水遊びをするときは「目を離さない」ことが大切です。また、家庭内でお年寄りが入浴するときは「ときどき声を掛け様子を見る」などのちょっとした注意や配慮も重要です。

さらに、不幸にも事故が発生したときに備えて、心肺蘇生法（人工呼吸と心臓マッサージを組み合わせて行う方法）などの応急手当法を身に付けておきましょう。



vol.27

水の事故から  
尊い命を守る



市消防本部  
☎0123

## 知って得する

No.10

# 暮らしのアドバイス

## 着物のTPO ~季節、場所、目的に合わせて~

普段は洋服でも、「ここぞ」というときに着物を着る人は多いのではないのでしょうか。TPOに合わせ、楽しく着物を着こなしましょう。

フォーマルな洋装と違い、着物は昼夜の使い分けがなく、季節や場所、目的に合わせてます。

未婚女性の晴れ着である振り袖は、パーティーやお呼ばれなど、華やかな席に着用し、色や柄は華やかなものが選べます。

留め袖は、女性の第一礼装です。一般的に、黒留め袖は結婚した女性の着物。色留め袖は未婚の女性でも着られるとされています。家紋を入れた黒留め袖は式服として、色留め袖は着る人の個性を生かして、パーティーなどに用います。いずれも式服であることに変

わりはありませんので、着付けやコーディネートをきちんと決まりに従いましょう。

訪問着は、留め袖に次いでフォーマルな着物です。お茶会やパーティーなど、さまざまな場所で用いられ、デザインも豊富ですが、それだけに、行き先や目的に合わせた選び方をすることが大切です。ホテルやレストランなど、洋風の場所ではモダンなものでもOKですが、茶室や日本庭園などには和風で落ち着いた感じのものを。もちろん、季節に合った柄を選ぶことを忘れずに。

紬つむぎや小紋は、観劇や買い物など、街着として最も着る機会の多い着物です。紬は長く着られることを念頭におき、飽きのこないシンプルなものを選びましょう。小紋はワンピース感覚で、好みに合ったおしゃれなものを。

男性の着物は、紬やお召しが一般的で、日常着でも外出時や来客時には羽織をつけるのが決まりです。羽織のひもは色物ですが、礼装の場合はすべて白でそろえます。

